

THE JAPANESE JOURNAL FOR  
HISTORY OF PHARMACY

薬史学雑誌

Vol. 48, No. 2.

2013

—目 次—

柴田フォーラム

- 18世紀西洋の医学・薬学を日本へ導入したツェンベリー……………高橋 文………… 99
- 文化財の理化学調査の歩みと正倉院薬物の調査……………米田 該典…………108
- 朝比奈泰彦とその家族……………朝比奈はるか…………114

原 報

- 牡丹・芍薬の名物学的研究(2) 芍薬の訓詁史……………久保 輝幸…………116
- オーファンドラッグ・オーファンデバイスの開発振興20周年を迎えて:最近10年間の成果とこれからの課題……………森本 和滋, 星 順子…………126
- 『緒方洪庵の薬箱(大阪大所蔵)』に収納された生薬資料:現況の可視化……………高橋 京子, 島田佳代子, 中村 勇斗, 近藤小百合, 小栗 一輝, 吉川 文音, 東 由子, 善利 佑記, 須磨 一夫, 伊藤 謙, 大橋 哲郎…………140
- わが国におけるアミノ酸系医薬品開発50年の変遷(Ⅲ) —ペプチド性医薬品(アミノ酸200個以下)—……………荒井裕美子, 小林 榮, 松本 和男…………151

史 伝

- CoQ および関連医薬品の研究開発小史と今後の問題……………今田 伊助, 井上 正康…………160

史 料

- 「乳鉢」の語が見られる中国古典籍とその語の語源に関する一仮説……………五位野政彦…………166
- 明治時代の局方における「錠剤」ラテン名の変遷および「錠」の語源についての一考察……………五位野政彦…………169

ノ ー ト

- 近代医薬包装史 序論 医薬品包装の明治維新……………服部 昭…………175

日本薬史学会年会特別講演・年会講演要旨

- ヒト耳あか型遺伝子の発見とその医学的・薬理学的・人類学的意義……………新川 詔夫…………187
- 日本薬史学会2013(平成25)年会講演要旨……………180

雑 録

- 北海道医史学研究会・日本薬史学会北海道支部 第8回合同学術集会抄録集……………194
- 会務報告……………204

THE JAPANESE SOCIETY FOR HISTORY OF PHARMACY

c/o CAPJ, 4-16, Yayoi 2-chome,  
Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0032 Japan

薬史学誌
Jpn. J. History Pharm.

Indexed in Medline Since 1980

日本薬史学会

<http://yakushi.umin.jp/>

